

巻 頭 言

21世紀に入って5分の1を過ぎ、予想以上のスピードで地球環境や既存の社会環境が変化しています。近時の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、そのスピードを加速させるでしょう。すべての人が排除されずその人らしく生き、健康で文化的な生活をするためには、諸学問をあげてとりくんでいかなければなりません。

本学は、平成15年に開学以来、ヒューマンサービスの理念に基づき、質の高い保健・医療・福祉の人材の養成と現任者への教育を行うとともに、保健・医療・福祉の総合化を目指して研究を行ってきました。人類のかかえる課題と人々の幸せな生活のために、保健・医療・福祉の領域という社会の一角から努力を続けてきたわけです。

それとともに、本学は県立の大学として、教育・研究活動で得られた成果を還元し、地域とともに歩んでいます。最新の研究成果を地域に還元する「教育と研究の拠点」として、地域の様々な機関と連携し、地域に貢献することを目指してきています。「地域」は本学の理念であるヒューマンサービスを実現する場であるとともに、地域の中で人間をとらえることが教育と研究の理念となっているのです。

本書は、こうした本学の保健・医療・福祉に関する取り組みのうち、社会福祉の切り口から見た地域研究を、大学院創設15周年を迎えたことを機にとりまとめたものです。本学の研究のほんの一部を紹介するものではありませんが、多様な世代の研究者の研究を世に問う機会を得たことを、たいへん喜ばしく思います。

神奈川県立保健福祉大学学長

中村 丁次